

第 1 回羽田空港における共同溝の強靱化対策検討委員会 議事要旨

日時：令和 7 年 7 月 4 日（金） 14：15 ～ 15：45

場所：東京空港事務所

議事要旨

- 羽田空港の機能の安定的な確保に向けて、共同溝の強靱化に係る課題、調査、対策工法等について技術的な観点から議論することを目的とした委員会の設置について説明を行った。
- 羽田空港における共同溝の課題の整理、調査、検討内容等について議論した。

（委員からの主な発言）

- 動態観測結果及び土質調査結果について、関東地方整備局や東京航空局等と連携をとりつつ不足がないよう資料収集を行うこと。
- 耐震性能照査の実施にあたり、土質調査結果の信頼性が重要である。したがって、耐震検討に必要な調査が行われているボーリング結果を選定すること。また、近傍の地震計のデータが活用できるかどうかも検討もすべきである。
- 動態観測で計測した沈下量について、圧密沈下や地震等、要因別に整理しておくとか対応策の検討時における整備目標が明確になり良いのではないか。
- マルコフ連鎖モデルを用いた劣化予測について、補修箇所データの取り扱いが難しく、一定のデータ量が必要になるため、そこを踏まえて予測結果を評価すべきである。
- 空港に限らず広く共同溝の強靱化対策に関する事例や最新技術動向をヒアリングしたうえで空港の共同溝という条件で適用できる対応策を参考にするなど、新たな技術開発の必要性等についても考慮しつつ信頼性のある対応策を検討してほしい。